

## 平成30年度 医療・看護・介護連携推進研修会開催要領

- 1 目的 超高齢社会の到来を踏まえ、医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、医療・看護・介護の切れ目ないサービスを提供できる体制を構築する必要がある。  
今回は、身近に起きた西日本豪雨災害を振り返り、それぞれの機関の対応と今後に向けて円滑な連携を築くためにどうあるべきかを考える機会として研修会を開催する。  
併せて、「医療・介護連携シート」、「入退院調整ルール」等の活用促進を図り、切れ目のない支援の一層の推進をめざす。
- 2 日時 平成31年3月7日（木） 13：30～15：45
- 3 場所 川崎医科大学附属病院 8階大講堂
- 4 対象 介護支援専門員・地域包括支援センター職員  
医療機関職員（医師・SW・看護師等）・訪問看護ステーション職員  
行政職員 等
- 5 プログラム  
13:00～ 受付  
13:30～ 開会あいさつ（備中保健所長）  
13:40～ <シンポジウム>  
テーマ「豪雨災害、あの時を振り返り、災害時における連携のあり方を考える」  
コーディネーター 吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科 教授 中瀬克己  
シンポジスト  
「医療機関の立場から」 まび記念病院 地域連携室 副看護部長 本郷博恵  
「訪問看護の立場から」 そーる訪問看護ステーション 理事長 片岡奈津子  
「ケアマネジャーの立場から」元ライフタウンまび居宅介護支援センター  
管理者 大熊明美  
「行政の立場から」 総社市長寿介護課 主査 野瀬明子  
指定発言  
「災害対策本部の動向」 備中保健所保健課 課長 宮崎裕子  
「くらら（西日本豪雨倉敷・高梁川流域医療保健福祉提供体制支援プラットホーム）の活動」  
倉敷市保健医療センター居宅事業所総括センター長 篠原淑子  
15:35～ 情報提供 「医療・介護連携シート、入退院ルールの活用について」備中保健所  
15:40～ 閉会
- 6 事業主体 主催：岡山県備中保健所，備中保健所医療・看護・介護実務者連絡会